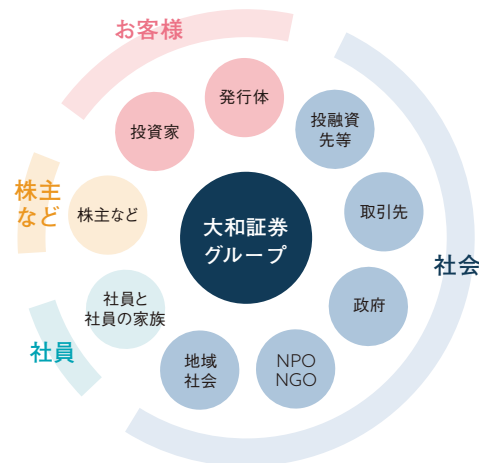


ステークホルダー・エンゲージメント

大和証券グループは、お客様、株主・投資家、投融資先等、地域社会や役職員などあらゆるステークホルダーの当社グループに対する理解と適切な評価を促進するため、積極的なエンゲージメントと公正かつ適時・適正な情報開示に努めています。

ステークホルダー・エンゲージメント基本方針

- ① ISO26000および日本経済団体連合会・企業行動憲章にもとづき、幅広いステークホルダーとのエンゲージメントに努めます。
- ② お客様、株主・投資家の皆様、投融資先等、取引先、社員ならびに地域社会などの、既知のステークホルダーの皆様とのエンゲージメントの深化に努めます。
- ③ その他のステークホルダーの把握のため、これまで接点のなかった外部機関・団体・個人等の皆様と積極的なコミュニケーションを行い、エンゲージメントにつなげていきます。



ステークホルダー・エンゲージメント基本方針
https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/group_sustainability/stakeholder.html

サプライチェーンにおけるエンゲージメント

大和証券グループでは、サプライチェーン全体で人権、労働基準、環境などの社会的責任に配慮すべく、「大和証券グループ サプライヤー行動規範」を定めており、サプライヤーの皆様にも倫理的なビジネスおよび責任ある調達活動に取り組んでいただけるよう、ご理解とご協力をお願いしています。

また、当社グループは「パートナーシップ構築宣言」を公表しており、取引先の皆様とともに成長できる持続可能な関係の構築、およびサプライチェーン全体のさらなる付加価値向上に努めています。

サプライチェーン・マネジメント、「大和証券グループ サプライヤー行動規範」
https://www.daiwa-grp.jp/sustainability/social/supply_chain.html

環境・社会関連ポリシーフレームワーク

当社グループは「環境・社会関連ポリシーフレームワーク」(投融資方針)のもと、事業における環境・社会リスクを管理しています。大和証券グループ本社およびその主要なグループ会社が実施する新規の投融資と債券／株式発行に係る引受を適用対象としており、環境や社会に対して多大な負の影響を与える可能性がある事業に対してリスクを認識し、エンゲージメントなどを通じて適切な対応を行うことで、ステークホルダーの皆様とともにより良い社会を創造していきたいと考えています。

環境・社会関連ポリシーフレームワーク
<https://www.daiwa-grp.jp/about/governance/risk.html#anc-04>

株主・投資家とのコミュニケーション

株主・投資家との直接的なコミュニケーションの場として、株主総会、決算発表当日のテレフォン・カンファレンス、個人投資家向け会社説明会、経営戦略説明会、アナリスト・国内外の機関投資家との個別ミーティング、さらには東京・香港・サンフランシスコ・ニューヨークで開催されるDaiwa Investment Conferenceへの参加など、多様なIR(インベスターリレーションズ)活動を実施しています。

2025年度は、2026年2月に、代表執行役社長CEO荻野明彦と指名委員会委員長・社外取締役岩本敏男が登場するトップマネジメントIRミーティングを、会場とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。経営企画部長をモデレーターとするパネルディスカッション形式により、あおぞら銀行との資本業務提携、デジタル・AIの活用、ガバナンス体制の強化といったテーマについて、



トップマネジメントIRミーティングの様子

ステークホルダー・エンゲージメント

機関投資家・アナリスト・ESG担当者・報道関係者と双方向の対話を行い、当日の様子は後日オンデマンド配信も実施しました。

そのほかにも、機関投資家との個別ESGミーティングの実施など、多様なステークホルダーとの対話の機会を設けています。会場での説明会や対面での個別ミーティングに加え、Web会議や電話会議などオンライン手法も積極的に活用し、株主・投資家の皆様との継続的なコミュニケーションに努めています。

対話を通じて得られた気づきは、経営戦略や資本政策の立案だけでなく、説明会資料などの情報開示の充実にも活かしています。たとえば、対話時の意見も参考に、2024年度から2026年度の現中期経営計画期間中は、1株当たり配当金額について通期44円の下限を設定しました。

個人投資家向けの情報発信にも注力しており、2025年9月には大和証券グループ本社ホームページ内の個人投資家・株主向けIRサイトを刷新し、デザイン・構成の改善とIRコンテンツの拡充を図りました。2025年度は、CEO、CFO、IR室員による個人投資家向け会社説明会を対面およびオンライン形式にて4回実施しました。このうち1回は、当社グループとして初めて開催した個人株主向け説明会であり、CFOが登壇しました。質疑応答やアンケートを通じていただいたご意見は、今後の情報発信改善に活かしていきます。

統合報告書については、2025年版から日本語版を2ヵ月前倒して8月に公開するとともに、ページ数を約半分に圧縮し、読みやすさと速報性の向上を図りました。あわせて、ポイント解説動画をYouTubeで公開し、2025年版からはAI音声による英語版の吹き替え動画も作成するなど、情報発信の多様化も進めています。

今後も、建設的な対話を通じて株主・投資家の皆様との信頼関係をより一層強化し、さらなる情報開示の充実とコミュニケーションの深化に取り組んでいきます。



大和証券グループ 統合報告書2025

 経営陣等と株主との対話の実施状況
<https://www.daiwa-grp.jp/ir/toolkit/dialogue.html>

 個人投資家・株主向けIRサイト
<https://www.daiwa-grp.jp/ir/digest/>

2025年度の主なIR活動実績

機関投資家・アナリスト向け説明会開催回数	9回	個人投資家向け会社説明会開催回数	4回
機関投資家・アナリストとの面談件数	337件	うち、個人株主向け説明会	1回
うち、海外機関投資家との面談	157件		

IR・SR活動の考え方

当社グループは、株主・投資家をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様には当社グループへの理解を深めていただき、公正かつ適正な評価につなげることを目的として、IR活動およびSR（シェアホルダーリレーションズ）活動を行っています。

ステークホルダーの皆様との対話を通じて得られたご意見やご要望、課題については、取締役会への報告などを通じて社内に適切にフィードバックし、企業価値向上に向けた経営戦略の策定や経営判断に活用しています。

企業価値向上に向けて、当社が目指すべき戦略的IRサイクル

